

#2-1

プログラム名	バスケットボール(千代田会場)
会場名	神田さくら館、江東養護学校の体育館
主任コーチ	河村 浩康
マネージャー	藤田 政弘
参加アスリート数	登録者約 20人 (出席率40%/毎回約8人参加)
年齢構成	小学生(約 2人)、中学生(約 1人)、高校生(約 7人)、社会人(約 9人)
ボランティア数	約10人 (うちファミリーが約 2人) 毎回約 3-5人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人(約 3人)、主婦(約 2人)、シニア(約 5人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	基本的に一緒に練習メニューをこなします。
競技指導のやり方	ジュニアクラスとシニアクラスの2つに分け、それぞれ担当コーチが指導します。それぞれのクラスで、ドリブル、シュートの基本からゲーム形式の練習をします。
既存ボランティアの競技レベル	競技経験者が8名位。全くの初心者から始められた方が数名。
既存ボランティアの参加頻度	出席率5割以上が6人位で、残りはそれ以下ですが、変動します。
希望するボランティアの経験レベル	経験・レベルを問いません。初心者歓迎。
ボランティアに希望すること	アスリートに気を配ることができる方希望
その他注意事項服装など	室内で運動できる服装と靴。(バスケット用でなくてもOK。)

#2-2

プログラム名	バスケットボール
会場名	多摩
主任コーチ	石川 知奈美、副主任:山内 實、内田 和明
マネージャー	三上 真理
参加アスリート数	約 20人/登録アスリート30-35人 (うち 重度障害 約 0人)
年齢構成	小学生(約5人)、中学生(約 8人)、高校生(約 8人)、社会人(約12人)
ボランティア数	約20人 (固定メンバー/頻回参加のファミリー以外のボランティア 約5人)、(ファミリーボランティア 約13人)、サポートファミリー-約2人
年齢構成	社会人・主婦(約 16人)、シニア(約 4 人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習前から練習終了まで、ほとんどすべての練習時間帯にアスリートと混じって参加する。
競技指導のやり方	準備体操/フットワークは全員で、主任/副主任コーチの指導下で(必要に応じてアスリートのそばで個人的な補助)実施。ボールハンドリング(パス・ドリブル)、シュート、試合の練習はレベル別に分けて、各担当コーチの下、練習をおこなう。《練習の最後におこなっている、試合にはレベル別ですが、すべてのアスリートが参加します。(コーチのバスケットボールのレベルにあわせて試合にも必要に応じて、参加していただきます。)
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール経験者:4人(ボランティア)バスケットボール未経験者:16人(ボランティア、ファミリーボランティア/特にスポーツ経験のある父親の参加頻度が高い)
既存ボランティアの参加頻度	2/3以上:4人、1/2:6人、1/3以下:10人
希望するボランティアの経験レベル	参加意識、SOの理念に基づく活動を理解して、会場でのコーチの指示通り楽しく参加して下さる方であれば、バスケットボールの経験の有無・レベルは問いません。
ボランティアに希望するシヨブ、メッセージ	バスケットボールの指導補助、アスリートのケア(列に並ばせる、次の順番待ちの間のコミュニケーションなど)、練習(時間内)に関連する事務処理 (純粋なボランティアが不足しております。ファミリー以外の方と関わる機会を与えていくのもアスリートにとって大変大切なことだと思いますので、是非よろしくお願ひします。)
その他注意事項	

#2-4

プログラム名	バスケットボール
会場名	世田谷(厚生年金スポーツセンター)
主任コーチ	湯浅 泉、副主任:小谷 洪司
マネージャー	根岸 真子
ボランティア担当	小谷 洪司
参加アスリート数	登録者約 21人 (うち重度障害0人)
年齢構成	小学生(約 5人)、中学生(約 6人)、高校生(約 2人)、社会人(約 8人)
ボランティア数	約13人 (うちファミリーが約 0人) 毎回約 8人参加出席ファミリーは全員ファミリーボランティアの意識をもっています
年齢構成	大学生以下(約 1人)、社会人・主婦(約 7人)、シニア(約 5人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	最初のエールから、ランニング、ストレッチ、プレイ、ゲーム、最後のエールまで、すべて一緒です。
競技指導のやり方	一緒に競技をやりながら、眼についた点をほめる、なおすの指導をします。ゲームでは黒子として一人のアスリートに一人のボランティアがつくこともあります。競技(練習)の内容はボールハンドリング、ドリブル、パス、シュート、ゲーム(アスリートとボランティアで5人組とする)
既存ボランティアの競技レベル	指導者レベル 全員
既存ボランティアの参加頻度	1回当たりの平均参加数 コーチ6~8 ボランティア2(企業ボランティア含む)
希望するボランティアの経験レベル	中・高の授業でバスケットボールは経験しているでしょうから、競技レベルは問題にしています。
ボランティアに希望すること	一緒に練習を楽しんでくれれば結構です。
その他注意事項服装など	当然ですが、バスケの出来る服装(靴はバスケシューズでなくて大丈夫です。)

#2-5

プログラム名	バスケットボール
会場名	杉並
主任コーチ	丸山 久美子
マネージャー	小澤 真吾
ボランティア担当	蒲田 尚史
参加アスリート数	登録者 約30-35人 参加者 約20人
年齢構成	小学生(約7人)、中学生(約 10人)、高校生(約11人)、社会人(約 5人)
ボランティア数	認定コーチ約13人(うちファミリーが約4人) 毎回約 8人参加、他にサポートファミリー約18人うち毎回約8人参加
年齢構成	社会人・主婦(約 13人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	すべての練習種目に参加し、アスリートへのサポートを行うアスリートにとって、良い見本であり、良き練習仲間であること
競技指導のやり方	ランニング、ストレッチ、フットワーク、その後、レベルに分かれて、ドリブル、パス、シュートなどの練習。ジュニアレベルでは1vs1でアスリートとパスをしたりするので、たくさんのボランティアを必要としています。最後に、アスリートにボランティア、コーチが混ざってチームを作り、楽しくゲームを行う。
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール指導経験者 1人、バスケットボール競技経験者 8人、未経験のファミリー 多数
既存ボランティアの参加頻度	2/3以上の参加が10人、それ以下 3人
希望するボランティアの経験レベル	スポーツ経験があり、積極的に練習に参加してくれる人。バスケットボール競技未経験者大歓迎です。
ボランティアに希望すること、メッセージ	バスケットボール競技経験を生かし、練習メニュー、指導ができる人。 継続して、練習に参加する。
その他注意事項服装など	アスリート・ファーストを常に念頭に置き、無理のないプレーを心がけてください。 体育館履き、運動のできる服装着用(ジーンズ不可) 十分な準備運動、十分な水分補給。

SON東京 ボランティア・オリエンテーションシート 2009年版

プログラム名	バスケットボール
会場名	目黒
主任コーチ	上谷 富彦
参加アスリート数	登録者約25人（うち重度障害0人）
年齢構成	小学生（約2人）、中学生（約2人）、高校生（約6人）、社会人（約15人）
ボランティア数	約15人（うちファミリーが約1人） 毎回約 8人参加
年齢構成	大学生以下（約 1人）、社会人・主婦（約 11人）、シニア（約 3人）
アスリートとボランティアの触れ合い状況	最初にコーチからアスリート、ボランティア、ファミリー全員に、練習の目標、連絡事項などを説明した上で、一緒にエールを掛けて練習します。
競技指導のやり方	練習内容はランニング、ストレッチ、フットワークから始まり、レベルに分けてパス、ドリブル、シュートなどの基本からゲーム形式の練習まで。 今期からアスリート、ファミリー、コーチで練習目標を確認し、それぞれに見合ったスキルの習得、進捗状況を見ながら、練習をする。
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール指導経験者3名、他は競技経験者。
既存ボランティアの参加頻度	常時半数は参加。
希望するボランティアの経験レベル	学校の授業でバスケットボールをされているので、競技経験は問わない。
ボランティアに希望すること、メッセージ	アスリートと一緒に運動し、楽しんでいただける方。
その他注意事項服装など	運動が出来る服装と靴（バスケットシューズには拘らない）